

とっとり

vol.146

鳥取県総合情報誌

Now

SUMMER 2025

巻頭
特集

心潤す世界の秀作名作ずらり

鳥取県立美術館 華やかにOPEN





巻頭特集：今春にオープンした鳥取県立美術館

とっとり Now

vol.146
鳥取県総合情報誌
SUMMER 2025



巻頭特集：大幅に拡充したコレクション

● 表紙イラスト ●

Sarapo サラポ プロフィール

1995年鳥取県生まれ。米子高専卒。町中のショーウィンドーや看板等に絵を描く。今まであまり知らなかった地元の面白いものを発見するたびにワクワクし、筆を走らせている。

146号表題「夏の民藝美術館」

鳥取市の夏の風物詩「鳥取しゃんしゃん祭」の日に、鳥取民藝美術館（鳥取市）に立ち寄ってみた。吉田璋也氏がプロデュースした民芸品は、生活の中に溶け込んでこそ輝きを増す。「イカスミJIRO」というインクの温もりを感じる色で、使い込まれた風合いを表現した。



あーとの森	陶芸 花井 健太	2
巻頭特集	心潤す世界の秀作名作ずらり 鳥取県立美術館 華やかにOPEN	4
カメラアイ Camera Eye	夜景と花火の`競演、`	14
新 温泉ソムリエがゆく しっとり天然ONSEN漫遊記	宝喜温泉館	16
ここにこの人	鳥取県植物誌研究会員 坂田 成孝	17
開運おかげ詣で 因幡と伯耆の神社	猪子神社	20
TOTTORI おもしろ発見手帖	歴史つなぐ古美術コレクション	21
企業紹介	大村塗料株式会社	22
鳥取のうま味	名水育ちのとらふぐ料理	23
VIVA! トットリLIFE 輝くIJUターン者たち	伯州綿のシャツ屋	24
Voice・読者プレゼント・編集後記		26

□「特集」は休みます。

「とっとりNOW」が毎月届く
「ふるさと来LOVEとっとり」
会員を募集中！

入会
年会費
無料



鳥取駅から車で南下約30分、山里の鳥取市河原町かわはらちょうに「いなば西郷工芸の郷」さいごう（※1）がある。東京藝術大学で彫刻を学んだ花井健太さんは、福岡の陶芸家・福島善三さんに師事した後に、鳥取の白磁作家・前田昭博まえたあきひろ（※2）さんを紹介され、この地に移り住んだ。

彫刻から陶芸への転身も、花井さんは「立体の共通で違和感はなかった」という。「石彫で習得した不動の存在感を、土と炎の伝統的な技術で自分のものにしたい」。日常雑器の手堅さが信念を証明しているが、その焼き物を通して望むのは幅広い人々との交流だ。

妻の画家・友田恵梨子ともださんを伴い、移住を決意したのは「住民の意識と優しさ、都会育ちの眼には新鮮な四季の変化」だった。枯れ葉が新緑となり、花が咲いて実を結び、やがて種がはじける。「山野の再生と暮らしほど、刺激的なドラマはない」と力説する。

そして種は「壺」に、開花は「鉢」になった。掲載の『霜柱壺』は「久しぶりに見た冬景色に感激した作品」。成形した壺に線條を彫り、白化粧を埋め込んだ象嵌技法ぞうがんの逸品である。自然のパワーを生かした作陶は、多彩な視点でさらに満開となるだろう。

※1 いなば西郷工芸の郷＝2017年に発足した地域活性化運動の一つ。さまざまな分野の作家が移住、毎年10月に作家と市民が工芸祭で集う

※2 前田昭博＝重要無形文化財「白磁」保持者（人間国宝）。紫綬褒章、旭日小綬章など受章。日本工芸会理事



ゴブレットや湯飲みなどの日常雑器

自然のパワーを作陶に 陶芸 花井 健太



『霜柱壺』(2024年、陶器30.5×20.0cm)



はない・けんた
1985年千葉県柏市生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。2014年、重要無形文化財「小石原焼」保持者・福島善三さんに師事。17年に「やなせ窯」の前田昭博さんに招かれて鳥取市河原町に移住し、「花輪窯」を築く。日本工芸会正会員。

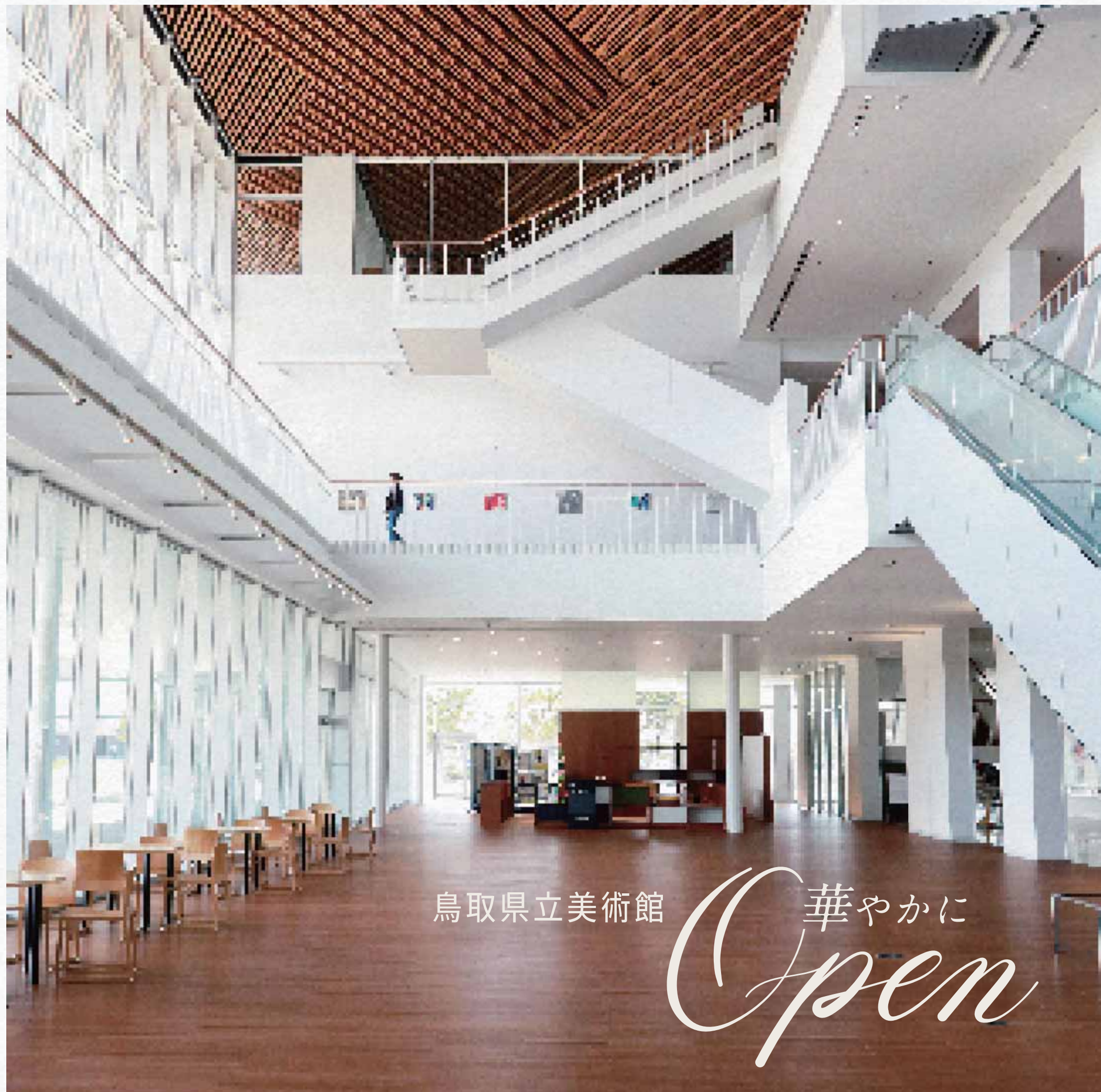
心潤す 世界の秀作 名作ずらり

今春、鳥取県の新たなアートの発信拠点として
開館した鳥取県立美術館（倉吉市）。
バラエティーに富んだ名作展示のほか、あらゆる人が
アートに触れる機会を設け、来館者の心を潤している。
『開かれた美術館』として地域の日常に溶け込む、
にぎわいの拠点となりそうだ。

文／倉恒弘美 写真／田中良子



正面入口の前に設置された彫刻作品。
青木野枝《しきだい》（2024年）



鳥取県立美術館

華やかに

Open



2月下旬、まもなく開館する美術館を訪れた。開館告知のポスターがずらりと並び「OPENNESS!」というキャッチフレーズが踊る。思わず小声で「オープンネス!」と口に出してみる。積極的に開いていく前向きなエネルギーと、心持ちとしての寛容さや、誠実な開放性も含む言葉だ。直球のメッセージは鮮やか。

独立行政法人国立美術館
国立アートリサーチセンター
主任研究員 稲庭 彩和子

多様な利用者を視野に入れ「開かれた美術館」という理念は、国際的には1990年代から美術館の目指すあり方として明示され、現在は国内の美術館の事業計画書にも必ず書かれる目標になっている。

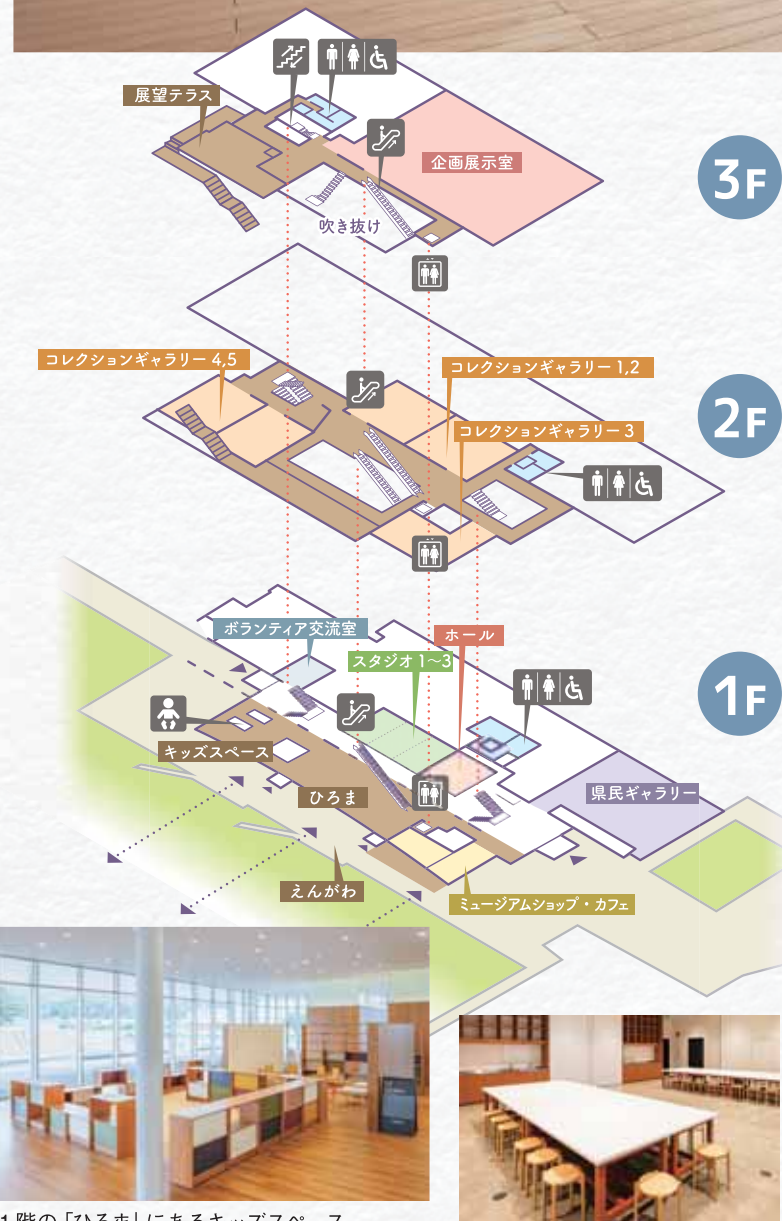
しかし、である。それが計画書に文言としてあっても、実態が伴わない例は枚挙にいとまがない。限られた予算と人員のなかで、行政や美術館は自館が持つ価値が「開かれる」重要性を等閑視してきたところもある。

鳥取県立美術館の建築空間や、この方向性からは、多様な0歳以上の全ての人に開いていくという明確な意思が感じられる。背景には、世界の潮流でもある大きな視点の変化があるのではなかろうか。美術館の価値は、収蔵品や展示物だけにあるのではない。その社会的価値は、利用者とながら共創しない限り、いずれ萎んでいく。「こっち側」と「あっち側」がつながり、創造性のある生態系がつけられてこそ、美術館の社会的価値が生まれる。それが21世紀の美術館の目指すべきスタンダードなあり方だ。だからこそ「OPENNESS オープンネス!」。これだけ明快に建築空間と展覧会やプログラムとをつなげて、この転換を明示した美術館は国内にはないのではないのか。期待が膨らむ。

新しいスタンダードを示す美術館



見晴らし抜群の展望テラス。写真撮影やティーブレイクなどゆったりとくつろげる空間



1階の「ひろま」にあるキッズスペース。入館無料で自由に入出りできる★



仕切りで分けたり広くしたりできるスタジオ。さまざまな用途に利用可能だ★

多様性を受け入れ、新時代の可能性広がる



「とにかく気軽に寄ってもらい、親しみを感じてほしい」と館長の尾崎さん

「県立美術館としては、全国でも最後発の部類。その強みを生かし、最新の知見や可能性を盛り込んだ『新時代の美術館』の誕生です」と話すのは、館長の尾崎信一郎さん。同館のキャッチフレーズは「OPENNESS!」で『誰に対しても開かれ、多様性を受け入れる』がコンセプト。

それを建物でも体現し、館内は3階まで吹き抜けの開放的な空間。1階の「ひろま」は自然光が差し込み、隣接する史跡大御堂廃寺跡歴史公園の芝生広場を一望できる。加えて入館無料のキッズスペースや、ミュージアムショップ・カフェなど大きな特徴だ。「展示を見なくても気軽に立ち寄って、美術館の空気に触れてもらえれば」と、日常の中での利用を歓迎する。

※PFI方式Ⅱ民間資金やノウハウを活用して公共事業を実施する手法



展望テラスに鎮座するユニークな彫刻。中ハシクシゲ《お出掛け犬》(2025年) 対面には対となる《抱きつき犬》(2025年)



光が差し込み明るい雰囲気 of 2階東側の吹き抜け★

2025年3月30日、鳥取県立美術館が待望の開館の日を迎えた。同館の整備は、老朽化や収蔵庫不足の問題を抱える鳥取県立博物館から、美術部門を独立させる足掛け10年のプロジェクト。PFI方式(※)を採用し、県と民間企業10社からなる特別目的会社(SPC)が一体となり、設計・建設から運営・維持管理まで一貫して行うのは全国初の試みだ。

「鑑賞知識が必要で高尚」「子ども連れは入りにくい」などのイメージが根強い美術館。しかし「あり方は時代とともに変化している」と尾崎さん。従来、主な機能は作品の収集・保存、展示・教育、調査研究だった。しかし近年はワークショップ等も加わり、より気軽に参加し交流する活動が世界各地で展開されている。

「鑑賞知識が必要で高尚」「子ども連れは入りにくい」などのイメージが根強い美術館。しかし「あり方は時代とともに変化している」と尾崎さん。従来、主な機能は作品の収集・保存、展示・教育、調査研究だった。しかし近年はワークショップ等も加わり、より気軽に参加し交流する活動が世界各地で展開されている。

館内にはそこかしこにイスがあり、ひと休みできる★



《ブリロ・ボックス》(1968/1990年、鳥取県立美術館蔵)のほか、アンディ・ウォーホル作品の数々 ※[アート・オブ・ザ・リアル]展



前田寛治《西洋婦人像》
(1925年頃、鳥取県立美術館蔵) ★



浜田浜雄《ユバス》
(1939年、東京国立近代美術館蔵) ★
※[アート・オブ・ザ・リアル]展



伊藤若冲《象と鯨図屏風》六曲一双【左隻(左) 右隻(上)】
(18世紀、MIHO MUSEUM蔵) ★
※展示期間3/30～4/20:[アート・オブ・ザ・リアル]展

「参加できる」が豊富 コレクションも大幅拡充

さらに同館では、教育普及活動を「アート・ラーニング・ラボ（通称A.L.L./オール）」と名付け、参加型のプログラムを充実させている。年齢や障がいの有無に関わらず、すべての人がアートを通して感動や学びを得る機会を提供し、時には企画や運営にも参加できる。中でも、鳥取県内の小学校・義務教育学校・特別支援学校小学部のすべての4年生を招待す

る「MUSEUM START BUS」は、A.L.L.の目玉事業の一つ。尾崎さんは「子ども時代にアートの触れる貴重な機会。可能性を広げてほしい」と意義を語る。鑑賞活動のガイド役では、ボランティアスタッフも活躍中だ。ボランティアは約300人が登録しており、他にもワークショップの企画運営、広報物の発送、清掃活動など活動は多岐にわたる。「予想以

上の応募の多さ、関心の高さに驚いた。能動的な学びや主体的な関わりを欲している人は多いのだと実感。文化交流の場にもなれば」。コレクション(収蔵品)の幅も拡大した。県立博物館から受け継いだ前田寛治や辻晋堂ら県ゆかりの作品に加え、国内外の優品の収集を進め、より一層の充実を図る。話題を呼んだアンディ・ウォーホル《ブリロ・ボックス》もその一つで、伊藤若冲の作品もコレクションの目玉だ。



高さ約4m、インパクト大の作品。
やなぎみわ《Windswept Women 2》(2009年、鳥取県立美術館蔵) ※[アート・オブ・ザ・リアル]展



橋本興家《雨》(1966年、鳥取県立美術館蔵) ★



倉吉耕などを展示した「絣織の美」＝写真上＝や辻晋堂《沈黙》(1957年、鳥取県立美術館蔵)＝写真左中央＝など見ごたえある彫刻作品が並ぶコレクションギャラリーの会場





結婚式の前撮りなどにすでに利用された「ひろま」のスペース（写真左）。
写真下は、すでに予約がぎっしりの広々とした「県民ギャラリー」★

Gallery & Public Space

500㎡の広さを持つ県民ギャラリーは、展覧会やイベントなどを催したい県内の団体・個人に貸し出している。可動式の壁で区切ることができ、一区画約20㎡から利用可能で使い勝手がいい。これまでに市内の文化団体の展覧会や、県の伝統工芸品展、写真展などが開催され、すでに1年先まで予約がぎっしり。創作活動の発表や、交流の場として、ますますの活用に期待大だ。

また、多様な使い方ができるパブリックスペースも貸し出し中。ワークショップに適したスタジオ、講演会などにはホール、そして開放感あふれる「ひろま」や「えんがわ」は、結婚式の前撮り、ファッションショー、レセプションなど、アイデア次第で多目的な利用が可能だ。新しい価値の創造や、記憶に残る特別な体験を演出できる。

展覧会、結婚式など多目的に利用可能

【県民ギャラリー・パブリックスペース】



「えんがわ」から外に出ると広がる芝生の広場は、イベントなど多目的に利用できる ★



研修や講義などに利便が良いホール ★



Web

Museum Shop & Cafe

1階東側エントランスから入って左にミュージアムショップ、その奥にカフェがある。ショップではアンディ・ウォーホルの《ブリロ・ボックス》をはじめ、作品にちなんだグッズやコレクションにまつわる商品を販売する。このほか、民芸品のセレクトショップ「COCOROSTORE」(倉吉市)とコラボレーションして、鳥取県の民芸を紹介する売り場を設置。国造焼、浦富焼、福光焼の県内3つの窯元とタッグを組んだ美術館オリジナルマグは、ここでしか手に入らない逸品。また、鮮やかな色彩の障がい者アートの関連グッズも注目だ。



アンディ・ウォーホルのグッズほか、民芸品や展示作品関連など、手にとってみたくなるデザインの小物類が並ぶミュージアムショップ



Web

【ミュージアムショップ&カフェ】

来館者だけのプラスアルファの楽しみ



工夫を凝らしたメニューが楽しめるカフェ。
写真右は代表メニューの「GARDEN ホットサンド」★

カフェは「ひろま」からも入店でき、店内に18席、「えんがわ」のテラスに16席を設ける。「食の力でアートをより身近に、そして特別に」がコンセプト。代表的なメニューは、県産野菜とローストポークを詰め込んだ「GARDENホットサンド」。開館記念展のコラボメニューは、アンディ・ウォーホルの《キャンベル・スープ缶》にちなんだアレンジメニューや、ART・OF・THE・REALの頭にTを足した「本物のタルト」(TART OF THE REAL)もおススメ。開催期間中ならではの楽しみ方で、アートとともに、ここだけの食体験をぜひ。



Web



企画展概要とスケジュール

鳥田元旦（花鳥図押絵貼屏風（部分））（1831年 鳥取県立博物館蔵）★



伊藤若冲《花鳥魚図押絵貼屏風》八曲一隻
（江戸中期、鳥取県立美術館蔵）★

2025
【会期】10/11 SAT ▶ 11/24 MON

The 花鳥画 —日本美術といきものたち—

【観覧料】*（ ）内は前売料金・20名以上の団体料金

一般	1200円(950円)
学生	750円(600円)
高校生	500円(400円)
小中学生	300円(240円)



Web

全企画展共通 未就学児、障がいのある方・難病患者の方・要介護者およびその介護者は無料。
企画展チケット購入で当日、コレクション展も観覧可能。



鳥取県立美術館

〒680-0001 倉吉市駄経寺町2-3-12 ☎0858-24-5442 図9時～17時(最終入館16時30分)
 図月曜日、年末年始(12/29～1/3)ほかWebサイトのカレンダーを参照
 図【コレクション展】一般400円(団体320円)、学生・70歳以上200円
 ※高校生以下、障がいのある方・難病患者の方・要介護者およびその介護者は無料
 【企画展】企画ごとに異なる



Web

水木しげるの妖怪が集結する「百鬼夜行展」。多彩な関連プログラムも同時開催される◎水木プロダクション★



2025
【会期】7/19 SAT ▶ 8/31 SUN

水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 ～お化けたちはこうして生まれた～

【観覧料】*（ ）内は前売料金・20名以上の団体料金

一般	1500円(1200円)
学生	950円(750円)
高校生	500円(400円)
小中学生	300円(240円)



Web

サウンドアーティストmamoruによる
ワークショップ(ポーランド)★



photo:Tien Zong Yuan

【会期】
2026
2/7 SAT
▶
3/22 SUN

CONNEXIONS コネクションズ —接続するアーティストたち—

【観覧料】*（ ）内は前売料金・20名以上の団体料金

一般	1200円(950円)
学生	750円(600円)
高校生	500円(400円)
小中学生	300円(240円)



Web

世界の名画、妖怪、花鳥画、現代アートなど多彩

開館記念展「アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術—若冲からウォーホル、リヒターへ—」は6月15日まで。アンディ・ウォーホル、ゲルハルト・リヒター、クロード・モネ、伊藤若冲、つぐはる、そうそう、藤田嗣治ら世界の錚々たる作家や鳥取県ゆかりの作家100人以上による、180点以上の作品が集結。自身のスマートフォンを使う無料の音声ガイドもある。会期は残りわずかだが、「リアル」をテーマにした江戸期から近現代の世界の名品・名画の競演を鑑賞できるまたとない機会だ。

夏休みの企画展「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展～お化けたちはこうして生まれた～」(7月19日～8月31日)は、水木しげるの創作活動の裏側に注目した展覧会。水木プロダクション所

蔵の妖怪関連資料を初公開するほか、百鬼夜行の名にふさわしく、妖怪画100点以上を一挙に公開!ダンスパフォーマンスやワークショップなどの関連プログラムや夜間開館も楽しめる。

秋には、時にかわいく、時に華麗で、時に勇壮な生き物たちをモチーフにした近世期の作品を集めた「The 花鳥画—日本美術といきものたち—」(10月11日～11月24日)を開催。2023年に収集した伊藤若冲《花鳥魚図押絵貼屏風》を初公開する。

26年初の企画展は「CONNEXIONS コネクションズ—接続するアーティストたち—」(2月7日～3月22日)。世界で活躍する新進気鋭のアーティストを招聘し、パフォーマンスやインスタレーション作品を発表する。

2025
【会期】3/30 SAT ▶ 6/15 SUN

アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術 —若冲からウォーホル、リヒターへ—

・半期展示替 前期:3月30日(日)～5月11日(日) ※終了
後期:5月13日(火)～6月15日(日)
・3期展示替 前期:3月30日(日)～4月20日(日) ※終了
中期:4月22日(火)～5月18日(日) ※終了
後期:5月20日(火)～6月15日(日)

【観覧料】*（ ）内は20人以上の団体料金

一般	1600円(1250円)
学生	1000円(800円)
高校生	500円(400円)
小中学生	300円(240円)



Web



美術に詳しくなくとも、耳にしたことがあるだろう錚々たる100人以上の作家の作品が一堂に会する展示会場



※期間中に展示替えがあるため、本誌掲載の作品が見られない場合もあり



夜景と花火の`競演、

(鳥取市)

撮影／クワンKwan (島根県出雲市)

毎年8月に開催する「鳥取しゃんしゃん祭」(鳥取市)でフィナーレを飾る花火大会。鳥取城跡(久松山)から見下ろせば、夜空に咲き誇る大輪の花と大パノラマの夜景が見事にコラボレーション。美しく夏を彩った。

ここにこの Human Life 人

「足で稼いだ」植物データ13万件。
85歳のフィールドワーカー、坂田成孝^{しげたか あせ}さんが、
鳥取県内の野山、海岸、河川敷、田畑の畔を歩き回って
集めた貴重な記録を一昨年、県に寄贈した。
データは生態系の今を示す指標であり、
未来の環境を守る「防波堤」となる。

鳥取県植物誌研究会員
坂田 成孝
Sakata Shigetaka

文／松田 則章 写真／山田 真実

温泉ソムリエがゆく 天然 たっぷり ONSEN 漫遊記

宝喜温泉館 (鳥取市)

地下から直送 〴〵生きている、名湯

およそ温泉が湧いているとは思えない、のどかな田園にそれはある。「道楽で掘ったら湧いたわ」と笑うのは、代表の安岡大次^{だいじ}さん。掘削した自家源泉の「宝喜^{ほうき}温泉館」だ。

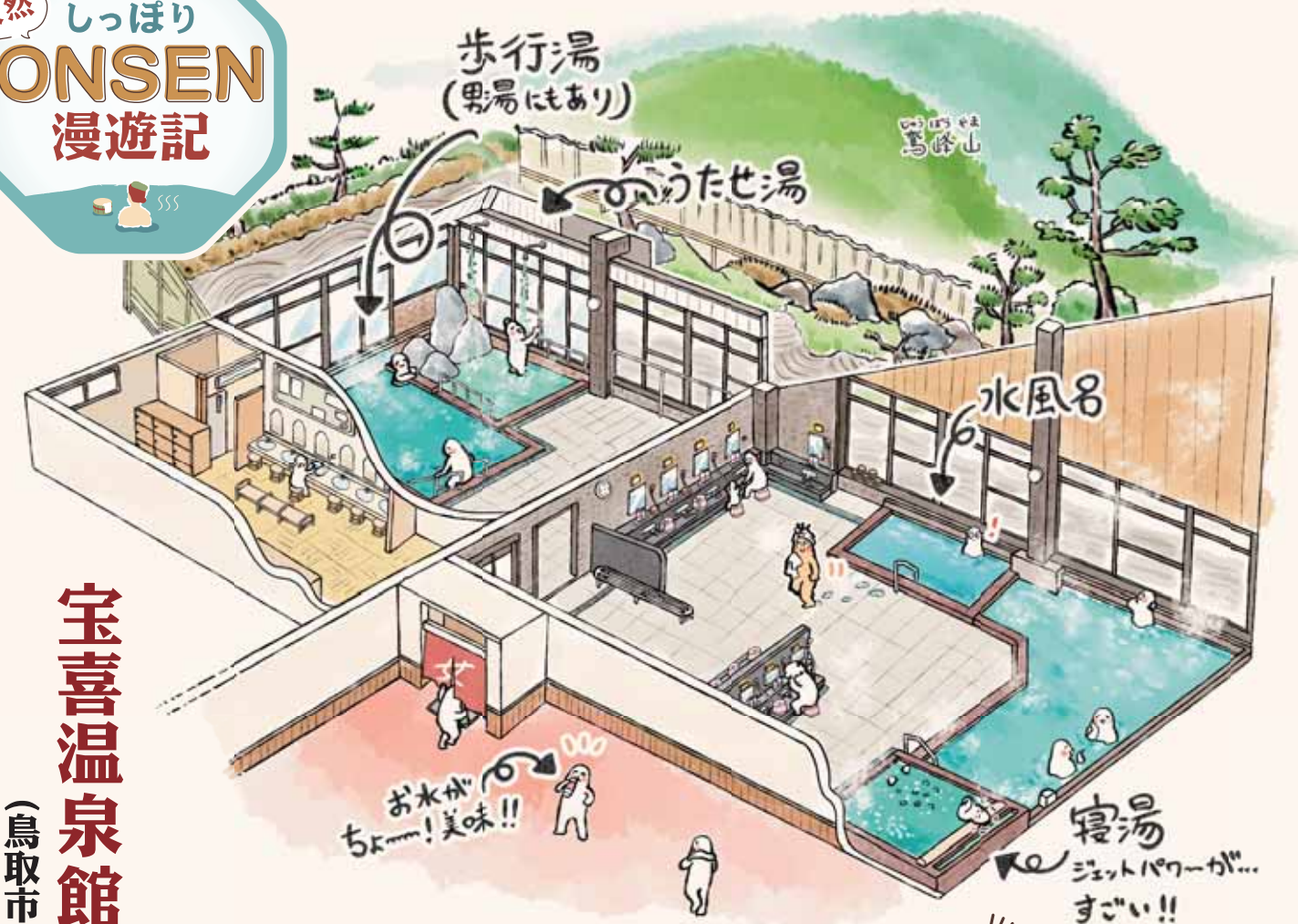
地下1300㍍から汲み上げる源泉は、地中に埋めたパイプを通り、一切空気に触れず浴槽へ直接注がれる。まさに「生きている、温泉。無色透明、弱アルカリ性で肌当たりはとても柔らか。約48℃の絶妙な湯温だから加温や加水は一切なし、豊富な湯量も相まって、本物の「源泉100%かけ流し」の湯なのだ。

浴室に入り、驚いた。プールがある！

これは歩行湯といって、全長10㍍・深さ1.2㍍もあり、歩いたり浮遊感を味わったりできる珍しい浴槽。運動と癒やしの一石二鳥、これを目当てに遠方から通う人もいる。他にも、ジェット付きの寝湯や高さ3㍍から源泉が流れ落ちるうたせ湯、温泉とともに湧出した天然水の水風呂…と、あの手この手で楽しませてくれる。

「源泉直送だから、湯気にも成分がたっぷり。浸かってよし、吸ってよしの薬湯みたいなもんです」と、安岡さん。ワンコインで大満足、実力派の名湯を見つけた。

鳥取県の天然温泉を温泉ソムリエがめぐる記録。
ソムリエならではの入浴方法も紹介します。



PICK UP POINT

「pH8.39」の弱アルカリ性単純泉、いわゆる「美人の湯」。角質層の新陳代謝を促進するため、くすみやざらつきが取れてツルぴか肌にとつておきの情報をふたつ。休館日はあるが、実は入浴可能。男女別の露天風呂を完備した旧館を開放しており、隠れた人気。また、車いすのまま入れる身障者用浴室も完備している。(要予約)

施設情報

〒鳥取市気高町下光元691-2
☎0857-82-6010 ☎10時～22時
☎第3水曜日(祝日の場合は翌日)
※ただし旧館に入浴可能
☎大人(中学生以上)460円、小人230円



Web

三日にあげず調査へ

「コハリスゲ 2013・6・14 八頭郡 春米 氷ノ山」

植物を確認した日付や場所のデータをパソコンに入力し、合わせて確認場所を地図に落とすための位置も記す。坂田さんは植物調査から帰ると、こんな作業を1件、1件行う。1回の調査で確認する植物は、多い時で200個体を超える。そのデータの蓄積が約13万件になり、作業はなお継続中だ。

「植物調査を本格化させたのは退職した2000年。それから、三日にあげず調査に出かけた」

氷ノ山や扇ノ山、大山など著名な山は、「コースを変えて何度登ったかわからない」。名前を知らない山も含めて県内の山の7割を踏破。海岸や田園地帯も含めて各地を歩き、データを記録して写真を撮り、その場で種類が分からないときは標本として持ち帰る。

そんな日々を積み重ね、四半世紀が過ぎた。

「県植物誌」作成が使命

坂田さんは八頭町の田園地帯で育ち、豊かな自然の中でナマズなどを捕って遊んだ。鳥取大学に進学して教師を目指す傍ら、サークル活動では「生物研究会」に所属。コケ研究の第一人者として知られた教授、越智春美さんら2人の恩師に出会って植物研究の面白さを知り、県内外でのフィールドワーク（調査活動）に同行して植物の名前や特徴を覚えていった。

大学卒業後は小学校の教師となり、主に八頭郡で勤務。初任地の分校では、学校から扇ノ山山頂までの遠足を企画し、行き帰りに子どもたちに植物の名前を教えながら歩いたことも。時に仕事の合間をみて大学や鳥取県の依頼で植物調査に参加し、フィールドワークを続けた。

「ほとんどの県に植物誌があるのに、鳥取県にはない。私たちが作ろう」。坂田さんが30歳のころ、日本アルプスに登山した際、宿泊した山小屋で、同行していた越智さんにこう提案された。その時は何げなく受け止めたが、30年後の教師退職時、その言葉が現実味を帯びてよみがえる。以来、自身の使命として「鳥取県植物誌」作成プロジェクトに参画し、同時に、県が実施していた「レッドデータブック（RDB）」と「レッド」の編さんに加わった。



坂田さんが八頭郡内で発見したマイヅルテンナンショウ（2019年）とその花（写真上と左）。写真右は鳥取市用瀬町で発見したトラノオスズカケ。両方とも県内初確認。花が咲かないと名前が判別しづらいものも多く、同じ植物を1年に何度も観察するという＝写真提供：坂田成孝



「未来の環境を守る指標に」

足で稼いだ貴重な植物データ13万件

県内初の希少種発見

「植物調査を続ける中で、県内初確認の希少種を発見したときが一番うれしかった」

こう振り返る坂田さんは、これまでに数種の植物を県内で初確認している。このうち2016年に鳥取市用瀬町で見つけたトラノオスズカケ（県RDB絶滅危惧I類）は、用水路近くの傾斜地に自生していた。スズカケに似てはいたが花の形が異なっていたため、

採集して持ち帰った。さらに発見地の周辺を探し回って複数を確認し、約2カ月後にトラノオスズカケと判明した。

坂田さんが膨大な植物データを、鳥取県の検索システム「生物多様性GIS」に寄贈したのは、自身が調査を本格化させて20年以上が経過した2023年。「年をとって、個人で保有していても活用できない。県で生かしてもらえれば」と思ったからだ。こうした功績が認められ、24年には地域環

境保全功労者表彰（環境大臣表彰）を受けた。

80歳のとき、車の運転をやめた。以降、移動に制約があるなか、列車とバスを乗り継ぎ、月に数回は氷ノ山や鳥取砂丘に出かけている。

「植物調査は環境変化のものさしだ。今は外来種の調査に力を入れている」

フィールドワークに注ぐ坂田さんの情熱は衰えを知らない。

さかた・しげたか

1940年、東京都生まれ。空襲で自宅が焼失した5歳まで東京で過ごした後、両親ゆかりの鳥取へ移り住んだ。鳥取大学の卒論は「鳥取砂丘の植物」。2000年、小学校長を最後に退職。鳥取県植物誌研究会のサイト「web版鳥取県植物誌」などに解説を書いたり、写真を提供したりと、植物研究者としても活躍している。

“サムライ世界”へタイムトリップ

歴史つなぐ古美術コレクション

国内外の古美術品約3万点以上を有する「渡辺美術館」(鳥取市)。これらのコレクションはすべて創立者・渡辺元さん(故人)が、昭和初期から60余年かけて収集した。館内には、常時約100領の甲冑や、中世から現代までの生活用品や絵画、陶磁器などが所狭しと並び、まさに日本の歴史・文化がわかる宝箱。鳥取県に縁が深い品々を中心に、学芸部長・伊東哲夫さんに話を聞いた。



VOL.18



甲冑

鎧本体や兜のほか、肩から腕を守る袖と下半身を覆う草摺にも家紋を彫った丸い金具があり、池田家とのつながりを表す。



浦島虎徹

切れ味と刀身彫刻に長けた刀工・長曾祢虎徹の作。刀身に浦島太郎が彫られている。池田家伝来の脇差とされるも、現物は行方知れず。展示品は現代刀匠・金崎秀壽さん(鳥取市)による復刻



家紋の「揚羽蝶紋」は織田信長から授けられた

馬標

戦陣で大将の所在を表す目印。頂部の家紋は遠くからでも一目でわかるよう直径45cmもある



鳥取藩は、当時の因幡国・伯耆国を所領とする32万5千石の大藩で、池田家の家紋入りの武具や調度品などが多数残されている。鳥取藩コーナーでは、実践用、装飾用など多種多様な品々が展示されている。

鳥取藩池田家の名宝ずるり



蘭図

鐔は刀剣の柄と刀身の間に取付けて、拳を守る金属の板。当時、付け替えて楽しむための収集が流行したことも。古くからたたたら製鉄や作刀が盛んだった鳥取県の「因幡鐔」は、精巧な作りで現代も評価が高い。



草子図



行軍や戦闘の合間に兜を脱いだ際に、着用する。家紋の揚羽蝶の触角を生かした洒落たデザイン

草烏帽子



御判物箱

大事な書類を入れる箱。初代藩主・池田光仲は、徳川家康のひ孫にあたり、徳川家の「三つ葉葵紋」の使用が許されていた。それが刻まれている生活道具など多い



鹿野城主・亀井家伝来の武具も多数

鳥取城の戦いや関ヶ原の戦いで戦功を挙げた鹿野城主・亀井茲矩。用水路の整備や朱印船貿易の振興など多くの功績がある。

文・イラスト/渡部紘巳(わたなべ・ひろみ) 納豆が大好きなイラストレーター。1982年生まれ、鳥取県育ち。づるづるした食べ物が好きなことから、屋号は「スタジオづるり」。



Web

氏子総代の寄進で豪華な社殿



正面は3つの扉がある三間社流造

猪子神社

鳥取市

「村の鎮守の神様の今日はめでたい御祭日——」で始まる文部省唱歌『村祭』。昔は村ごとに神社があり、「鎮守様」「氏神様」と呼ばれ親しまれた。氏神とは、元々は血縁関係にある一族の神様のことだったが、時代が下るにつれて、地域の神様とされるようになった。また、その地域に住む人を氏子という。

猪子神社は鳥取市猪子集落の氏神で、大庄屋の奥田家が代々、氏子総代を務めた。広大な山林を持ち、政財界にも通じた奥田家は、村の氏神のために多大な寄進をした。まず木目の美しさが際立つ総樺造の本殿。正面に3つの扉のある三間社流造と合わせ、近隣ではあまり見ない贅沢

なものだ。「明治 辛巳 奉主 奥田氏」「石運人 氏子中」と刻まれた礎石が、13代当主・奥田柳蔵の寄付と村人たちの協力によって、1881年に建てられた証を残している。

さらに注連柱(※)の揮毫は、内閣総理大臣・元老、元帥陸軍大将、を務めた山縣有朋によるもの。氏子総出で注連柱を運び、その労をねぎらうために柳蔵が大量の酒を振る舞ったことは、今でも村の語り種になっている。

集落を見下ろすように建つ奥田家住宅(非公開)も贅をつくしたものの。江戸時代末期に建てられ、県の保護文化財に指定されている。

文・写真/角田 治

※注連柱は2本の石柱の間にしめ縄を張ったもの



ご利益 五穀豊穡、山林守護、縁結び、安産・子授け



本殿の礎石には奥田氏、注連柱には山縣有朋の名が刻まれている



鳥取県保護文化財に指定されている奥田家住宅

開運
おかげ
詣で

因幡と伯耆の神社

古戦場へ思いはせるロケーション



館内ラウンジの大窓からは、山々を映す八幡池と一番奥にそびえる久松山の頂に鳥取城跡が眺められる。四季折々の景色と共に、武士の時代に思いをはせられる抜群のロケーションだ。

公益財団法人渡辺美術館
鳥取市覚寺55
0857-24-1152



Web



つのだ・おさむ グラフィックデザイナー。神仏探訪家。『山陰の神々 古社を訪ねて』(山陰の神々刊行会)など、神社にまつわる書籍の取材・執筆・撮影。

神社情報

社号:猪子神社 鳥取市猪子320
0857-53-1913(下味野神社宮司・小森宮司)



多様なラインナップの同社製品

「SDGs」が提唱されるずっと以前から、環境に優しく機能性に富んだ商品を次々と開発してきた大村塗料株式会社（鳥取市）。大量廃棄される生物由来の成分などに着目、たゆまぬ努力と研究を続けてきた成果が、いま結実し、時代をリードしている。

たゆまぬ探究心、画期的な製品開発



「オリジナル製品をさらに増やしていきたい」と大村さん

大村塗料株式会社

代表 / 大村 善彦
設立 / 1912年10月
資本金 / 6000万円
〒鳥取市千代水3-87
☎ 0857-28-7881



Web

同社は、今年で創業113年の老舗。3代目社長の大村善彦さんは、大学院卒業後、大手化学メーカーに就職したが、1982年に先代の急病により帰郷、30代で家業を引き継いだ。突然のことに「抵抗もあった」という。

転機は89年、鳥取県の産学官連携共同研究プロジェクトへの参加だ。境港で水揚げ量日本一を誇るカニの殻に含まれる「キチン・キトサン」の需要拡大を目標に研究に着手、参加によって人脈も徐々に広がっていく。結果、木材塗料での応用に成功し、さらには世界初の「電磁波シールドめっき法」の事業化にもつながった。

キトサンは防カビ性、抗菌性、生体適合性などに優れ、医薬品分

野への応用も進んでいる。その効果と応用範囲を更に増大させる「キチン・キトサンナノファイバー」の製造方法を鳥取大学、京都大学と共同で開発。数々の特許を取得し、配合製品で中国地方発明奨励賞を2回受賞している。

生物由来の成分ではカニのほか、イカにも着目。2005年には、コウイカの墨を使った万年筆のセピアインクを(有)万年筆博士と共同で商品化、近年では画材用顔料「イカスミJIRO」を開発。日本画家・岸本章さんとコラボレーションして製作したカレンダーは、独特の温かい色味が話題を呼んだ。

このほか、DIYブームで人気を誇るのが「キトサンエイト」。機能性と発色に優れ、ローラーで気



画材用顔料「イカスミJIRO」とそれを使用して描かれたカレンダー

軽に壁の色を変えられる。また、洗浄剤「OMイレイザー」は、ほぼ100%天然由来の成分。あらゆる汚れを強力に落とすが、キチンナノファイバーの添加効果で手に優しい。同社の屋台骨を支えるもう一本は、「塗るガラス」と呼ばれる完全無機塗料のOCシリーズ。ケイ素と酸素が主成分で、塩害やさびを防ぐ長期の耐久性や汚れにくい性質を持ち、住宅外壁やトンネルなどに使われている。

「伝統も大事にしながら、時代に合わせた開発が必要。今後は他社とのM&Aも視野に入れ、自社製品をさらに増やしていきたい」と大村さん。工学博士の探究心と時代を読み取る鋭い目で、常に先を見据えている。

文／岩崎 涼子 写真／山内 一峰

※M&Aは企業の合併や買収

鳥取のうま味

山麓の地域に多くの恵みをもたらす鳥取県の秀峰・大山の天然水。「淀江ゆめ温泉白鳳の里」（米子市）もその一つで、地域住民の癒やしの場となっている。驚くべきは、こちらの温泉水でトラフグが養殖されていること。「大山名水とらふぐ」として施設内のレストランで提供され、胃袋も満たす。薄く引いた「ふぐ刺し」は、養殖ものならではの硬すぎず軟らかすぎない絶妙なコリコリ感。淡泊ながらトラフグ特有の深いうま味に、舌の感受性が高まるよう。味をさらに引き立てるのが、オリジナルの「大山名水ぼん酢」だ。市内の老舗・須山醤油株式会社の製造で、同じ水を使っているから相性は抜群。鳥取県産ユズの香りも心地いい。

火を通して、また美味。「蒸し焼き」「唐揚げ」は、閉じ込められたうま味と弾力を解きほぐすように食べるのが楽しく、骨の周りに付いているコーラーゲンのプルプル感もたまらない。

冬が旬の高級魚を一年中、しかもリーズナブルに味わえるところあって人気が高まっており、最近では県外からのバスツアー客も訪れる。「海水よりも塩分濃度を抑え、温度・水質も徹底管理、ストレスの少ない環境で育っているの、臭みがなく品質も上々」と、専務取締役の錦織宏明さん。地域に「福」を呼び込む新たな名物料理になることを目指している。

文／鳥飼 明子
写真／佐野 明美



■■ 名水育ちのとらふぐ料理 ■■

「ふぐ刺し(皮付)」「ふぐ蒸し焼き(陶板)」「(4~10月 ※11~3月は鍋)は、「おたふく御膳」4800円(税込)の中の一品。「ふぐ唐揚げ(アラ)」1380円(税込)は単品で注文可能。要予約。

淀江ゆめ温泉白鳳の里 レストランゆめ亭

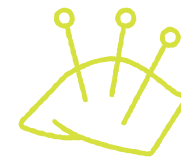
所 米子市淀江町福岡1547
☎ 0859-56-6798
(白鳳の里 予約専用)
受付時間 10時~18時
営 レストランゆめ亭
昼11時30分~14時30分 (LO:14時)
夜17時00分~20時30分 (LO:20時)
休 第4水曜日(祝日の場合は翌日)



Web

輝くJUターン者たち

文／松田 則章 写真／萱野 雄一



紆余曲折を経てニッハ

「僕にとって伯州綿の魅力は、素材としての素晴らしさだった。でも、今はその魅力の8割くらいを歴史と文化が占めている」

江戸時代に栽培が始まった伯州綿は、繊維の太さやほどこい弾力性が特徴。布団や着物の中入れ綿として使われるとともに、北前船^{きたまえふね}によって全国に運ばれた。日本の綿栽培は明治以降、安価な外国産綿に押されて衰退したが、伯州綿は17年前、境港市で栽培再興の取り組みがスタートした。

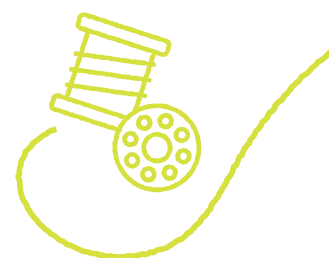


シャツの色は白、生成りのほか、藍染めされた鮮やかなブルーも。ボタンの種類も選ぶことができ、個性を出せる

「伯州綿は日本の綿文化の一翼を担っていた」。仲里さんは、いつしかそう考えるようになった。
神奈川県で生まれ育った仲里さんは、技術や美術が得意な少年だった。大学では哲学を専攻し、商社に就職したものの、「ものづくりで生きたい」という思いが湧き上がり、数年で退職して服飾の専門学校へ。卒業後は、アパレル会社でのデザイナー勤務を経て、現場へのこだわりから山梨県で織物職人に転身した。この時に出会ったのが、「ふわっとした風合い」の和綿（日本の綿）だった。

ストーリーで広めたい

和綿の一種・伯州綿に人生をかけるきっかけとなったのは、「境港市地域おこし協力隊」の募集だった。業務は伯州綿の栽培とPRで、2017年から3年間、綿栽培に携わりながらSNSなどで魅力を発信。任期満了後は、洋裁の腕を生かし同市内で完全オーダーによるオンラインワンの「シャツ屋」を起業した。



製品のタグに描かれているのはブランドキャラクター「ユミーとハマー」。Instagramで同キャラのストーリーを発信中



素材の魅力にひかれて移住 完全オーダーで一点もの製作



「より個性を出して、客層を広げていきたい」と仲里さん

伯州綿のシャツ屋(境港市)

仲里心平さん 神奈川県出身

- ◎移住前の住まい／神奈川県
- ◎移住時期／2017年9月
- ◎現在の仕事／伯州綿生地^{はくしゅうめん}のシャツづくり(企画・製造・販売)



Web



Instagram

製作は、顧客の思いを聞く打ち合わせから始める。仮縫い、裁断、縫製と段階を踏んで約2カ月で納品。価格は1着3万5000円(税別)、ワンピースは4万8000円(税別)で、現在の客層はシニア世代が中心でその7割が女性だ。山陰がほとんどだが、全国ネットのラジオ出演などにより大阪や沖縄、千葉など遠方からも注文が入り、知名度はじわじわと広がっている。

とはいえ、「今は、さらに個性を出すべく、新たな製品の企画に力を入れる時期」と、仲里さん。一方で、「歴史や文化などをまとめて、伯州綿をストーリーとして広めていきたい」と発信にも意欲的だ。移住から8年、伯州綿への愛着はなお深まっている。

【I・J・Uターンの相談窓口】

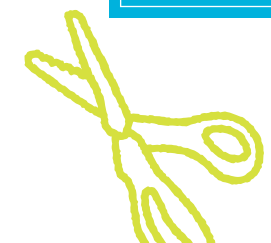
公益財団法人
ふるさと鳥取県定住機構

☎ 0120-841-558

とっとり移住定住
ポータルサイト
「鳥取来楽暮」▶



Web



歴史好きの自分が、今いちばん興味を持っているのが室町時代。巻頭特集「歴史秘めた魅惑と景勝の地」を読み、その時代の端緒となる重要人物・後醍醐天皇の周辺がわかりました。

(愛知県名古屋市 外塚 明)

「多勢に無勢、地形と知恵で圧勝した」という船上山合戦の話が面白かったです。観光ガイドの岩田さん、毎月登ってお供えをするとは、すごいですね。船上山に行ってみたくなりました。

(愛知県名古屋市 古橋 佐知子)

「建武の新政」は、高校で習った記憶がありますが、船上山の軌跡は全く知りませんでした。滝がきれいな景勝の地ですね。機会があれば伺いたいです。

(兵庫県宝塚市 富永 龍太郎)

企業紹介の記事に感動。海岸で多くのゴミを目にするたび、悲しい気持ちになっていました。ドローンの有用活用は、社会的意義がありますね。

(徳島県阿南市 十枝 令子)

「トットリLIFE」で紹介されていた仏絵師・荒木さんの言葉「仏画の制作は自分にとっての修行」に感銘を受けました。ぜひ個展を鑑賞してみたい。

(広島県福山市 井西 康治)

「ぎりり匠人」の表具、修復の職人さんの記事がよかった。鳥取には工芸や民芸の匠が数多くおられ、誇らしい。

(鳥取県米子市 永原 天和)

「この人」の記事。戦場フォトグラファー・青木さんの行動力はすごい！智頭町出身とのことで、応援したいです。

(鳥取県鳥取市 谷口 由美子)

表紙がきれいで一瞬、美術関連の冊子かな？と思ったほど。頁をめくれば、「温故知新」という言葉がしっくりとくる内容でした。代々守られている風土、それを守るための最新技術、挑戦する人々など…。今後も県民も知らない場所や事など、新しい世界観を『とっとりNOW』で魅せて欲しいです。

(鳥取県鳥取市 中川 さやか)

■ 応募方法

下記の項目を記入し、ハガキ、FAX、電子メールまたはWebの専用応募フォームでご応募ください。

- ① 希望の商品記号または商品名
- ② 掲載記事への意見・感想
- ③ 応募用クイズの答え
- ④ 住所・氏名・年齢・電話番号

※②の感想が次号の「voice」に掲載される場合、住所・氏名が明記されることをご了承ください。また商品の当選は、発送をもって発表に代えさせていただきます。

※お預かりした個人情報は、プレゼント発送以外の目的に使用することはありません。



Web

● 応募用クイズ ●

Q 今春、倉吉市に開館した鳥取県立美術館のキャッチフレーズは何？空いた□に当てはまるローマ字を記入してください。

□□E□N□SS

145号のクイズの答えは「名和長年」

■ 応募先

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220
鳥取県広報連絡協議会(鳥取県庁内)
「とっとりNOW読者プレゼント」係
メールアドレス: now@kouhouren.jp

応募バチ
2025.
6/30
消印有効

A



《ブリロ・ボックス》 キャンディー缶 (40g) 【3名】

アンディ・ウォーホル《ブリロ・ボックス》をかたどった缶に入ったソーダ味のキャンディー。食べ終わった後は小物入れにもなり、複数個を積み上げれば、より本物らしい雰囲気。

問 鳥取県立美術館ミュージアムショップ
電 0858-24-5442

OMイレイザー (200cc)

【3名】

油汚れやこげつき、インクなど、あらゆるがんな汚れに威力を発揮するクリーナー。カニ殻などから取れる高機能新素材「キチンナノファイバー」配合で肌にも優しい。

問 大村塗料株式会社

Web <https://www.chitosan-paint.com/items/50102647>

B



C



三朝ヨーグルト お試しセット (120g×6個) 【3名】

鳥取県産「白バラ牛乳」を使用し、濃厚なコクと甘み、2層構造が特徴の三朝ヨーグルト。お試しセットでは、水切り、アロエ、リンゴ&ナタデココなど6種類の味が楽しめる。

問 三朝ヨーグルト

Web <https://www.misasayogurt.com/>

Editor's note □ ■ 編集後記 ■ □

「雑草という草はない」。植物学者・牧野富太郎の有名な言葉。以前、NHKの朝ドラの一場面で耳にした時、「そう、そうだね!」と共鳴し胸がすっとした。□子どもの頃から、風に揺れる野山の草花に心ひかれ、思うことがあったからだ。愛でられる美しい花々に比べ、邪陰にされがちな草。過酷な環境でたくましく生きているにも関わらず、十把一絡げにされ、都合よく「雑」と冠を付

けられ、雑に扱われる。この差になんだかなあ…と、やるせなさを感じていた。□坂田さん(17頁)は60年以上、何十回も同じ場所に通い、同じ植物を観察し続けて来た。「必ず名前はある、ないはずがない」との信念は一貫している。生きとし生けるものへの「愛」を抱き、だから今日も山へ川へと足を運ぶ。名前を呼んでもらえるその日を、首を長くして待っているだろう。彼ら。のために。空の上の牧野さんも、きっとワクワクしながら見守っているに違いない。【Hi】

企画・編集・発行 鳥取県広報連絡協議会
〒680-8570 鳥取市東町1丁目220(鳥取県庁内)

制作 株式会社シセイ堂デザイン
〒680-0841 鳥取市吉方温泉3-802 TEL.0857-22-1122

TEL.0857-26-7086
FAX.0857-29-6621

『とっとりNOW』はWebでも見られます。

また、Web限定のコラムでは6月から「見聞玉手箱」が新スタート!「すべての道は鳥取に通ず」「満ぶくよくばりグルメ皿」も連載中。



Web